土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　国際拠点港湾 広島港 江波地区 港湾海岸保全施設整備事業に伴う地質調査業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　港湾　護岸

ボーリング名	R5-Bor.No.9	調査位置	広島市中区江波沖町地内	北緯	34° 21' 44.3100"
発注機関	広島県広島港湾振興事務所	調査期間	令和5年 7月 6日～ 令和5年 7月12日	東経	132° 25' 28.7700"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 2.78m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	36.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：(株)東邦製D1-C型 / エンジン：(株)ヤンマー製TF120M型 / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
1～4	-1.92	4.70		礫混じり砂質土		褐灰	rd3		GL-0.05mまではアスファルト。GL-0.05～0..50mまでは礫混り砂である。GL-0.50～0.60mはコンクリートである。GL-0.60m以深は、Φ20～50mm程度の亜角礫が混入し、砂は細砂～粗砂を主体とする。細粒分を若干含む。
5	-2.82	5.60		砂		暗灰	rd3		細砂を主体とする。含水比が高い。
6	-4.02	6.80		シルト混じり砂		暗灰	rd3		細砂を主体とする。幅5cm程度薄層状にシルト分を挟んでいる。GL-6.50～6.80m付近にΦ75mm程度の玉石が混入している。
7～10	-7.92	10.70		砂		暗灰	rd2		細砂を主体とする。
11～25				シルト		暗灰		rc1	比較的均一なシルトを主体とする。貝殻片を含む。

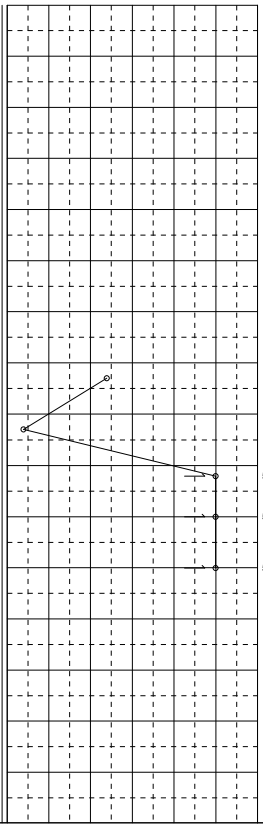
孔内水位／測定月日：7/7 1.00、7/11 1.60、2.10、2.60

標準貫入試験 深度―N値図

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
14	1.15	7	4	3	14/300		
	1.45						
4	2.15	2/150	2/150		4/300		
	2.45						
12	3.15	3	5	4	12/300		
	3.45						
14	4.15	6	3	5	14/300		
	4.45						
21	5.15	7	7	7	21/300		
	5.45						
11	6.15	2/150	4	5	11/350		
	6.50						
12	7.15	2	5	5	12/300		
	7.45						
11	8.15	3	3	5	11/300		
	8.45						
3	9.15	1/150	1	1	3/350		
	9.50						
8	10.15	3	3	2	8/300		
	10.45						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-9-1	⊖	物理一式	7/6
1.45				
2.15	P-9-2	⊖	物理一式	
2.45				
3.15	P-9-3	⊖	物理一式	
3.45				
4.15	P-9-4	⊖	物理一式	
4.45				
5.15	P-9-5	⊖	物理一式	
5.45				
6.15	P-9-6	⊖	物理一式	
6.50				
7.15	P-9-7	⊖	物理一式	
7.45				
8.15	P-9-8	⊖	物理一式	
8.45				
9.15	P-9-9	⊖	物理一式	
9.50				
10.15	P-9-10	⊖	物理一式	
10.45				
11.00	T-9-1	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸	7/7
11.80				
13.00	T-9-2	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸 圧密	
13.80				
15.00	T-9-3	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸	
15.80				
17.00	T-9-4	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸 圧密	
17.80				
19.00	T-9-5	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸	
19.80				
21.00	T-9-6	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸 圧密	
21.80				
23.00	T-9-7	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸	
23.80				
25.00				

26				シルト	暗灰		rc1	下部に向かうにつれ、若干細砂を含む。	
27									
28									
29									
30									
31	-28.22	31.00							
32	-29.92	32.70		砂	淡灰	rd3		細砂～粗砂を主体とする。 31mのシンウォールサンプルは砂分が多く自立不能である。	
33	-30.82	33.60		シルト	暗灰		rc1	比較的均一なシルトを主体とする。	
34				砂礫	暗灰	rd5		Φ20～50mm程度の亜円礫を主体とする。 細砂～粗砂を含む 含水比は高い。	
35									
36	-33.22	36.00							
37									
38									
39									
40									
41									



24	32.15	7	8	9	24		
	32.45				300		
4	33.15	1	1	2	4		
	33.45				300		
50以上	34.15	12	38		50	130	
	34.28		30		130		
50以上	35.00	50			50	20	
	35.02	20			20		
50以上	36.00	50			50	30	
	36.03	30			30		

25.80	T-9-8	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸 圧密	7 11
27.00				
27.80	T-9-9	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸	
29.00				
29.80	T-9-10	Ⓣ	物理一式 湿潤 一軸 圧密	
31.00				
31.80	T-9-11	Ⓣ	物理一式	
32.15	P-9-11	⊖	物理一式	
32.45				
33.15	P-9-12	⊖	物理一式	
33.45				
34.15	P-9-13	⊖	物理一式	
34.28				7 12